

伊豆大島火山防災マップ

発行：令和3年6月



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 863」

このマップの利用目的と注意点

伊豆大島火山は、たびたび噴火を起こしている活動的な火山です。現在は静穏な状態ですが、次の噴火に向けてマグマの蓄積が進んでいると考えられています。このマップは、噴火が起こったり、起こりそうになったりしたときに、皆さんが身の安全を守るためにどのような知識を持ち、どのように行動すればよいかを知るためのものです。過去に起こった火山現象から、どのような危険があるのかを理解して、的確な避難行動を行えるようにしてください。

ただし、火山はまだ分かっていないことが多くあり、天気予報のように噴火を予報することは困難です。突発的に噴火が起こることもあり得ます。特に伊豆大島火山は、山頂火口以外の住宅地に近い所や海岸付近などで、割れ目噴火や側噴火を起こす恐れがあります。また急激な地殻変動や地震の多発などの前触れの現象が起こってから短時間のうちに噴火が始まる恐れもあります。

このため、このマップだけでは火山現象の危険性や避難の方法などを知るのに十分ではありません。一方、火山は危険な状態に比べて安心して楽しめる期間の方がずっと長いものです。このような伊豆大島火山の特徴や避難のより詳しい内容は「防災の手引火山編」「伊豆大島火山避難計画」に記載しておりますので、町のホームページなどをご覧ください。

噴火警戒レベル

レベル3（入山規制）：②カルデラ内およびカルデラ縁から外側の約1kmまでの範囲への立入規制
①カルデラ内および山頂火口から約2kmまでの範囲への立入規制

レベル2（火口周辺規制）：山頂火口から約1kmまでの範囲への立入規制

レベル1（活火山であることに留意）：山頂火口から約600mまでの範囲への立入規制（ただし、平時時は遊歩道および展望台周辺を除く）

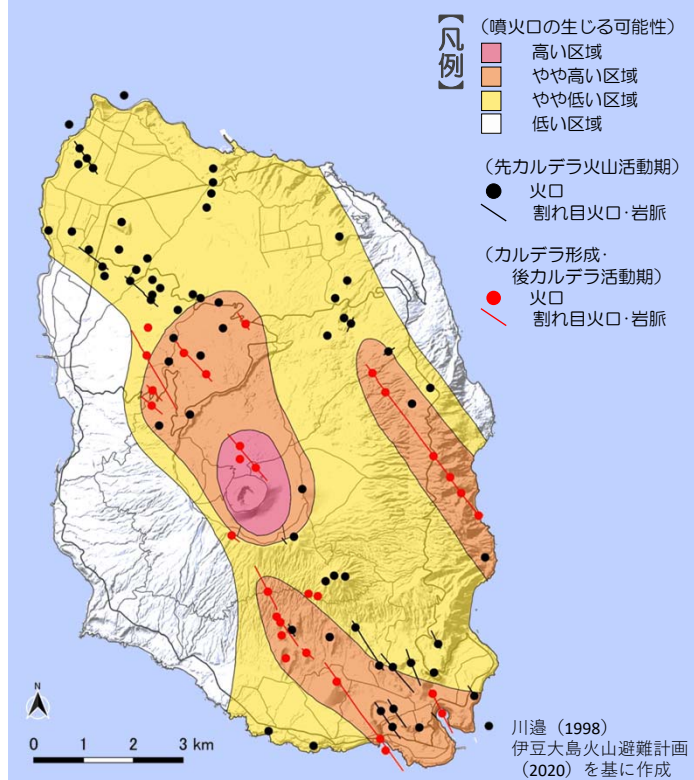
凡例

- 避難場所兼避難所
- 退避壕
- 歴史時代の溶岩流
- カルデラ壁
- 溶岩の予想流域
- 避難所
- 避難港
- 火砕丘
- 火口

立入規制箇所

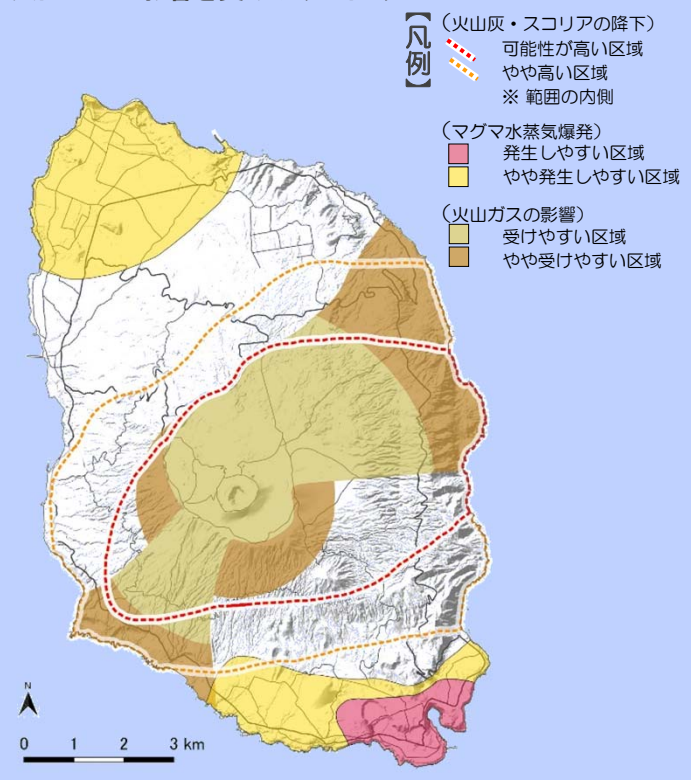
- オレンジ（橙）・・・噴火警戒レベル3
- 黄色・・・噴火警戒レベル2
- 白・・・噴火警戒レベル1

噴火が起こりやすい区域



過去に生じた割れ目噴火や側噴火などの火口の跡は、島内に約80ヶ所も確認されています。それらの火口は、北部の乳が崎と南部の波浮港を結ぶ北北西～南南東の帯状の範囲に分布しています。その中央部、南部、東部では、今後も噴火の起こる可能性がやや高い区域であり、特に山頂部では、噴火の起こる可能性が高い区域であると考えられています。

火山灰・スコリアの降下しやすい区域 マグマ水蒸気爆発が発生しやすい区域 火山ガスの影響を受けやすい区域



山頂火口から噴き上げられた火山灰・スコリア（黒い軽石）・火山ガスは、伊豆大島で卓越する北東・南西・西の風によって、千波方向や海の方へ流される可能性が高いです。マグマ水蒸気爆発は、マグマと水が接触して起こる激しい噴火です。波浮港周辺の南部海岸付近や北部の標高の低いところで発生しやすいと考えられています。

防災関係機関等一覧

名称	地区	電話	名称	地区	電話
大島町役場	元町	2-1441	東京都大島支庁	元町	2-4411
北の山出張所	元町	2-3525	大島警察署	元町	2-0110
岡田出張所	岡田	2-8121	消防本部	元町	2-0119
泉津出張所	泉津	2-8523	大島医療センター	元町	2-2345
野増出張所	野増	2-2378	大島観光協会	元町	2-2177
差木地出張所	差木地	4-0441	東海汽船	元町	2-2311
波浮港出張所	波浮港	4-0444	新中央航空	元町	2-1651

書き込みましょう！

わが家の避難先は・・・

緊急連絡先は・・・

Q&A

この防災マップに関するお問い合わせ先は…

大島町役場防災対策室 TEL：04992-2-0035